

# 2023 年度事業報告

公益財団法人滋賀県国際協会

## I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。2021 年度から新たな第3期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」「多文化共生の地域づくり」「ボランティア、市民活動団体の活動促進」「情報収集・提供による環境づくり」「協会の基盤整備」の5本を柱として事業を実施している。

今年度はコロナ禍を経て、4年ぶりにミシガン州友好親善使節団の受入を再開し、滋賀県と中国湖南省との友好提携 40 周年記念事業に携わるなど、姉妹友好州省等との交流事業に取り組んだ。次世代人材育成事業連続セミナーはじめ、国際教育研修、進路ガイダンス、防災啓発事業なども計画どおり実施した。

また、昨年に引き続き、ウクライナ避難民の滋賀県での生活のサポートを行う等、外国人県民等が地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

## II 事業実績

[自主] : 自主事業、 [助成] : 助成事業、 [補助] : 補助事業、 [委託] : 委託事業

### 《 国際感覚に優れたひとづくり 》

#### 1 国際教育啓発事業

##### (1) 国際教育・開発教育の普及 (オリジナル開発教材の普及) [自主]

###### ① オリジナル開発教材の普及

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- 「ブラジルボックス」 貸出件数：13件
- 「非識字体験ゲーム」ここは、何色？ 貸出件数：1件  
販売件数：17セット
- 「言葉がわからない」体験ゲーム震災編 販売数：15セット
- 「わたしん家の食事からカードゲーム版」 貸出件数：2件  
販売件数：11セット

###### ② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣

オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、持続可能な社会づくりに向けて実際に行動できる人材の育成に努めた。

派遣数：6件

###### ③ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2023 の開催 (共催：JICA 関西)

開催日：8月9日(水)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：46人

- 内 容：分科会1「『子どもの権利』ワークショップ」  
 分科会2「滋賀の歴史から考える多文化共生」  
 分科会3「となりのムスリム・ムスリマ」  
 分科会4「国際教育・多文化共生の必要性～多国籍化する学校現場から～」

④ 国際教育教材の貸出

所蔵数：713冊／点

貸出件数：17件、貸出点数 延べ153点（オリジナル教材を除く）

(2) 国際教育の研究 [自主]

国際教育研究会「Glocal net Shiga」による研究

研究会開催回数：12回、参加者：延べ133人

（4/16：10人、5/28：13人、6/24：8人、7/22：10人、8/9：10人、  
 9/17：9人、10/28：10人、11/18：17人、12/16：10人、1/13：10人、  
 2/11：13人、3/17：13人）（開催日：参加者）

(3) 国際教育の担い手の育成 [助成] [自主]

① 次世代人材育成事業『多文化共生 × SDGs × 開発教育』

若者を対象に座学（ワークショップでの疑似体験や講義）と直接触れる体験（フィールドワーク）を組み合わせた連続セミナーを実施。また、昨年度修了生、今年度受講生および Glocal net Shiga メンバーとの交流促進のため、オプショナル企画も実施。海外と繋がりのある人材と共に参加するプログラムを開催した。

【開催回数：連続セミナー6回およびオプショナル企画（OP）5回】

- |     |          |                          |
|-----|----------|--------------------------|
| 第1回 | 7/15（土）  | 「参加者同士の新たな出会い」           |
| OP① | 7/29（土）  | オンライン事前レク「日本ラチャーノ学院について」 |
| 第2回 | 8/3（木）   | 「ブラジル人学校の生徒との出会い」        |
| OP② | 9/2（土）   | 日本語教室見学                  |
| OP③ | 9/3（日）   | オンライン事前レク「イスラム教について」     |
| 第3回 | 9/10（日）  | 「ムスリム（イスラム教徒）との出会い」      |
| 第4回 | 10/14（土） | 「日本に根付く朝鮮半島の歴史と今との出会い」   |
| OP④ | 10/28（土） | ベトナム人コミュニティの方たちとの交流会     |
| 第5回 | 11/25（土） | 「これまでの学びのふりかえり」          |
| 第6回 | 12/17（土） | 多文化共生講演会および受講生による発表会     |

講師：田村 太郎さん

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

OP⑤ 2/11（日） 神戸宗教関連施設を巡るスタディツアー

受講者数：19人（うち、18人修了）

サポーター：19人（うち、昨年度受講生8人）

ルーツのある国：日本、ブラジル、イギリス、中国、インドネシア、  
 フィリピン、アメリカ

実績報告書の発行（2月）

② ファシリテーター養成講座の開催（共催：JICA 関西）

国際教育ワークショップ 地球市民を地域とともに育てよう Part 22

テーマ：「身近なことから世界と私を考える学びを創る～平和・環境へまなざしを向けて～」

講師：西上 壽一さん

（地球市民フォーラムなら運営委員、開発教育研究会運営委員）

開催日：1月13日（土）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：18人

③ 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：69件

イ. 講師派遣数：28件（オリジナル開発教材講師派遣数含む）

ウ. 講師（国際協会職員）派遣、訪問研修受入

・ 4/17	大津商業高校 第3学年「課題研究」	参加者	5人
	グローバル・ビジネス講座		
・ 4/24	大津商業高校 第3学年「課題研究」	参加者	5人
	グローバル・ビジネス講座		
・ 5/8	大津商業高校 第3学年「課題研究」	参加者	5人
	グローバル・ビジネス講座		
・ 6/6	全国市町村国際文化研修所(JIAM)	受講者	34人
	「自治体外国人施策の実務～第一線で 対応する方のために～」研修		
・ 6/19	大津商業高校 第3学年「課題研究」	参加者	5人
	グローバル・ビジネス講座 中間報告会		
・ 7/18	大津商業高校 第2学年人権学習	参加者	272人
・ 7/26	大津夜まわりの会 大津子どもひまわりの家	参加者	16人
・ 8/4	大津市教科等領域別研究会 国際教育部会研修講座（教員研修）	受講者	17人
・ 10/16	甲賀市立柏木小学校 職員研修	参加者	6人
・ 10/30	三木市役所 職員研修	受講者	44人
・ 11/20	長浜北星高校 職員研修	受講者	50人
・ 11/22	甲賀市立柏木小学校 第4学年	参加者	41人
・ 12/18	甲賀市立朝宮小学校 親子人権学習会	参加者	33人
・ 1/10	彦根市立河瀬小学校 第4学年	参加者	114人
・ 1/17	能登川高校 第3学年	参加者	120人
・ 1/18	甲賀市立貴生川小学校 第4学年	参加者	86人
・ 3/14	東大津高校 第1学年 人権学習	参加者	360人

エ. 国際教育協働推進事業報告書発行 3月

オ. 委員・アドバイス等

- 認定 NPO 法人開発教育協会 関西ブロック運営委員会委員
- 令和5年度 滋賀県立大津商業高等学校 「しがクリエイター12 プロジェクト」 コーディネート委員 会議出席 5/17、1/31
- 甲賀市教育長への国際（理解）教育推進についてレクチャー 2/26

#### ④ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼を受け、教員対象研修を担当した。

- 滋賀県総合教育センター 自己啓発研修(選択研修)「国際理解」  
開催日：8月9日（水） ※全教員対象 [再掲]  
会場：ピアザ淡海（大津市）  
受講者：22人（国際教育教材体験フェア参加者）

## 2 国際交流推進事業

### (1) 国際交流・協力量チャンネルの開催 [自主]

JICA 関係者等と当協会をオンラインでつなぎ、交流や情報交換をライブ配信で行い、身近に国際交流を体験できる機会を提供し、国際交流・協力の裾野を広げた。

実施方法：オンライン Zoom

#### [第5回：ルワンダ編]

テーマ：「ルワンダの今を知る」  
中継先：JICA ルワンダ事務所企画調査員  
開催日：10月7日（土）  
参加者：15人

#### [第6回：フィジー編]

テーマ：「フィジーから環境を考える～取り組みの現場より～」  
中継先：JICA 海外協力隊員  
開催日：2月17日（土）  
参加者：31人

### (2) ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営 [委託]

#### ① 施設の維持管理

施設利用者の安全確保や施設の長寿命化のため、必要に応じて外部に業務を再委託し、各種法令に基づく定期点検や調査を実施するなど、施設の適切な維持管理に努めた。

#### ② 県民および国内向けプログラム等の運営推進

##### ア. 英語プログラム、英語研修等

JCMU が実施する各種英語講座について、プログラムの企画、受講を促すための広報啓発活動、関係機関との連絡調整、受講者の事務手続きや相談対応等を行った。

また、県内高校の集中英語講座や長浜市教育委員会から受託した小学校外国語科教諭、中学校英語教諭を対象とした研修会の開催支援を行った。

### 【英語プログラム】

プログラム名	開講期間	受講者数（人）
英語プログラム	春季 4/4-6/17	78（内近江八幡教室 15）
	夏季 6/27-9/16	67（内近江八幡教室 11）
	秋季 10/10-12/9	80（内近江八幡教室 14）
	冬季 1/9-3/8	76（内近江八幡教室 16）
こども英語教室	通年 4/4-3/8	72
国内留学プログラム	秋季 9/4-5	不開講
	春季 3/4-15	7
計		380人

### 【英語研修】

講座・研修名	開催日
河瀬高等学校海外派遣研修事前研修	7/24
長浜市教育委員会 NETS トレーニング研修 （小学校教諭対象）	6/23、7/26、7/27、11/16
長浜市教育委員会 NETS トレーニング研修 （中学校教諭対象）	8/21、22

#### イ. 公開講座・交流会の開催

地域社会の国際化と国際理解および国際交流を目的とし、公開講座を開催した。

- 第 117 回公開講座「共同調査報道の意義とは」  
講 師：グランドバレー州立大学 Jeff Kelly Lowenstein 教授  
開催日：5月28日（日）  
受講者：19人
- 第 118 回公開講座「音楽は世界を超える」  
開催日：1月21日（日）  
参加者：62人（内留学生22人）  
内 容：第1部：近江高等学校吹奏楽部による世界の音楽の演奏  
第2部：JCMU 留学生との交流会
- 第 119 回公開講座「JCMU 英語プログラム 無料体験講座」  
開催日：2月27日（火）～3月2日（土）  
受講者：12人  
開講クラス：Runway(火・木)  
English First Steps（火・水・木・土）  
English Next Steps（火・水・木・土）  
English Step Up（火・木・金・土）  
Journeys in English（火・金・土）

#### ウ. 地域国際交流事業支援等

- ・ 6/15 彦根市立城北小学校3年生への出前講座（姉妹友好州交流学习）
- ・ 11/ 2 第33回ミシガンカップ滋賀県高校生英語スピーチコンテスト

・10/27 JCMU ハロウィン交流祭（第1部こども・第2部大人）

#### エ. 週末ホームステイの実施

金曜日の夕方から日曜日までの週末を利用した短期間のホームステイを年間3回実施した。

また、ホームステイの受入れ希望者の面談を随時行い、新たに8家庭のホストファミリー登録に至った。

実施日	参加学生	ホストファミリー
7/21-23	8人	8家庭 37人
10/20-22	3人	3家庭 14人
3/22-24	11人	11家庭 36人
合 計	22人	22家庭 87人

#### オ. JCMU 留学生と県民との交流の推進

県民と JCMU 留学生との交流により、地域の国際化や活性化を推進し、また JCMU 留学生の日本文化や地域文化等への興味や理解を促した。

実施日	内 容	会 場	参加学生数
6/22	多賀町 English Lab 活動参加	多賀慶照寺	3人
10/25	長浜小学校教諭によるインタビュー	JCMU	2人
11/8	彦根市立亀山小学校2年生との交流	亀山小学校	5人
12/15	河瀬高等学校 総合的な探求の時間インタビュー	JCMU	2人
12/31	除夜の鐘	彦根西福寺	自由参加
1/29	彦根市立金城小学校4年生との交流	金城小学校	6人
2/5	彦根市立城東小学校5年生との交流	城東小学校	6人
3/11	人権福祉交流会館小学生英語教室交流会	人権福祉交流会館	10人
			計 34人

### ③ 大学をはじめとした教育機関との連絡調整

各教育機関のニーズに合わせて、英語教官を派遣し講義等を行った。

#### 【講師派遣】

学校名（学部名）	科目名	派遣講師	開講期間・日
聖泉大学（人間学部）	コミュニケーション英語	2人	前期
聖泉大学（人間学部）	コミュニケーション英語	2人	後期
彦根工業高等学校	プログレス英語	1人	5/22-11/20 (全10回)
虎姫高等学校	究理Ⅲ	2人	7/19
光泉カトリック高校	TOEFL セミナー	1人	3/26

### ④ 広報、啓発活動の推進

JCMU ホームページや SNS を活用し、JCMU の日本語・日本文化／社会プログラムの学生の様子や地域との国際交流活動および英語プログラムの広報を行い、JCMU の認知度が高まるよう支援した。

⑤ センター教職員、学生の生活アドバイス

施設居住者等の安全を確保するため、留学生を対象に防火対策、地震や火災時の対応などについて情報提供するとともに当協会が集約し、多言語に翻訳した防災パンフレットの英語版と緊急時の心得手拭いを配布し、いざという時の対応について周知した。

また、彦根消防署北分署の協力のもと、防火・防災訓練を JCMU の秋学期と春学期の開講に合わせて2回実施した。

⑥ その他運営推進に関する業務

9月9日のミシガン州知事団の JCMU 訪問、学生との交流およびレセプションにおいて県や JCMU と協議を重ね、行程が円滑に進むよう協力した。

(3) ミシガン州友好親善使節団の受入

受入期間 10月19日(木)～28日(土)

9泊11日(うちホームステイ4泊5日)

受入人員 37人

[ホームステイ滞在都市]

大津市	5人	東近江市	5人
彦根市	6人	甲賀市	7人
近江八幡市	5人	草津市	2人
守山市	6人	その他	1人

(4) 姉妹友好州省等交流代表団の受入等 [委託]

① インド オディシヤ州政府関係者訪問団の受入

受入人員 7人

受入期間 5月29日(月)～30日(火)

② ミシガン州知事訪問団の受入

受入人員 23人

受入期間 9月9日(土)

③ ミシガン州友好親善使節団の受入 [再掲]

受入人員 37人

受入期間 10月19日(木)～28日(土)

④ 清華大学学生代表団の受入

受入人員 18人

受入期間 1月31日(水)

⑤ ミシガン州立大学留学担当訪問団の受入

受入人員 1人

受入期間 3月11日(月)

## (5) 滋賀県・湖南省友好提携 40 周年記念事業

記念行事への参加・運営協力

### ① 知事表敬

開催日：11月10日（金） 会長・常務理事臨席

### ② 記念式典・レセプション

開催日：11月10日（金）

参加者：会長・常務理事・当協会会員

### ③ 記念植樹

開催日：11月11日（土） 常務理事臨席

他、湖南省からの来県団随行

## 3 国際協力促進事業

### (1) JICA との連携による国際協力促進

独立行政法人国際協力機構 JICA 関西から駐在（1人）

JICA 国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信、相談業務等を行った。

### (2) 国際交流・協カライブチャンネル [再掲]

10/7 第5回：ルワンダ編

2/17 第6回：フィジー編

### (3) 身近な国際協力の促進

国際協力 BOX を設置し、外国コインや使用済み切手、書き損じはがきなどを収集し、国際協力機関へ送付した。

## 《 多文化共生の地域づくり 》

### 1 外国人住民への支援

#### (1) しが外国人相談センターの設置 [補助]

##### ① 相談窓口状況

○ 相談件数：1,499 件（前年度 2,032 件、対前年度比 73.7%）

（うち、新型コロナウイルス感染症関連 相談件数 30 件）

[前年度 573 件]

○ 相談内容：

入管 127 件、雇用・労働 188 件、社会保険・年金 147 件、税金 73 件、医療 162 件、出産・子育て 65 件、教育 113 件、日本語学習 32 件、防災・災害 0 件、住宅 57 件、身分関係 89 件、交通・運転免許 57 件、通訳・翻訳 33 件、その他 356 件

- 協力：外国人のための合同専門相談会（主催：大阪出入国在留管理局）  
予約・相談ブース設置協力  
開催日：1月26日（月）  
会場：大津びわ湖合同庁舎（大津市）  
内容：出入国・在留、人権、生活、労働等の専門家による相談会  
相談件数：28件

② 法律相談の実施（協定：滋賀弁護士会）

相談件数：9件〔前年度 21件〕

③ 在留資格出張相談会の開催（進路ガイダンス同時開催）

開催日：10月22日（日）

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）

相談対応：大阪出入国在留管理局職員

相談件数：7件

④ 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

ア. 研修会

[第1回研修会]

テーマ：令和5年度DV等対応相談員研修〈後期〉

（主催：滋賀県健康福祉部子ども・青少年局への参加）

会場：滋賀県庁東館（大津市）

（1日目）

講師：中嶋 幸子 さん（NPO法人レジリエンス）

開催日：11月28日（火）

参加者：8人

内容：トラウマ・心の傷つきについて、DV被害者への支援について

（2日目）

講師：吉田 昌孝 さん（龍谷大学社会学部）

井戸 祐輔 さん（滋賀県警察本部捜査第一課人身安全対策室）

開催日：12月18日（月）

参加者：8人

内容：SNSの危険性について、セキュリティー対策について等  
ストーカーやDVの実態と対応 等

[第2回研修会]

テーマ：「消費生活相談に関する基礎知識 ～外国人に関わる相談を中心に～」

講師：中野 恵子さん（滋賀県消費生活センター 消費生活相談員）

開催日：3月21日（木）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：14人

イ. 連絡会議

開催日：3月21日（木）

参加者：13人

## (2) 多言語による情報発信 [補助] [自主]

### ① 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行

発行回数：年4回 (No.147~No.150)

発行部数：計 20,000 部/回

(内訳) 日：2,900 部、英：2,300 部、ポ：4,100 部、ス：2,100 部、  
ハ：1,100 部、中：2,000 部、台：1,100 部、タ：1,900 部  
ベ：1,500 部、イ：1,000 部

### ② ホームページおよび SNS による生活情報等の発信

県内に在住する外国人県民等が必要とする生活情報等を、ホームページの生活 Q & A をはじめとするツールを使用し、11 言語での情報提供を行った。新型コロナウイルスに関する情報について 5 類移行するまで、県と連携し、国や省庁、県等の公的な情報等を多言語で発信した。

## (3) 滋賀県在住のウクライナ避難民への支援

### ① しがウクライナ避難民応援支援金の募集

○ 受付期間：2022 年 3 月 22 日 (火) ~ 2025 年 3 月 28 日 (金)

○ 募金収集方法：募金箱の設置

(滋賀県庁、ピアザ淡海、滋賀県立文化産業交流会館)  
専用口座への振込み

○ 募金総額：16,743,320 円 (3 月 31 日現在)

内訳	法人	55 件	10,998,771 円
	個人	135 件	4,043,667 円
	募金箱		1,700,882 円

○ その他

### ② しがウクライナ避難民への支援について

○ 受入れ状況 15 組 22 人 (3 月 31 日現在)

○ 支援状況

当協会は、滋賀県と「しが外国籍住民支援ネットワーク」(事務局：多文化共生支援センター)との三者で避難民居住の地元自治体や関連団体、ウクライナ避難民の身元保証人の方々と連携、協力し、滋賀県に避難されてきたウクライナの方々への支援を実施した。

#### 【支援内容】

日常生活のサポート、各種手続きの補助、生活支援金の支給、言葉のサポート、医療、就労・就学支援、日本語教育支援(子どもの日本語学習を含む)等

#### 【支給実績】 (3 月 31 日現在)

生活支援金 10,000,000 円

住宅環境整備支援金 2,700,000 円

その他 307,368 円

※財源：「しがウクライナ避難民応援支援金」

#### (4) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

##### ① 外国にルーツを持つ児童生徒と保護者のための「進路ガイダンス」の開催

開催日：10月22日（日） [自主]

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）

参加者：53人（9か国25組）  
〔外国にルーツを持つ児童生徒 24人  
保護者 25人、引率・見学者 4人〕

※在留資格出張相談会同時開催

##### ② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part 15 [自主]

テーマ：「外国にルーツを持つ子どもが豊かな未来を実現できる  
社会とは」

講師：各務 眞弓さん（特定非営利活動法人可児市国際交流協会）

開催日：3月15日（金）

会場：ピアザ淡海（大津市）

受講者：25人

##### ③ その他

- ・ 滋賀県教育委員会「帰国・外国人児童生徒教育指導連絡協議会」資料提供（6/22）
- ・ 甲賀市教育委員会主催「進路ガイダンス」進路資料提供（10/16）
- ・ 日本語学校 京都あすかアカデミアからの特待生枠（1人）提供あり

#### (5) 災害時の外国人県民等支援

##### ① 「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」にもとづく予防活動の実施

ア. 令和5年度滋賀県総合防災訓練（大津市総合防災訓練）への参加

開催日：10月15日（日）

会場：膳所小学校

他の外国人対応訓練参加機関：

大津市観光振興課 MICE 推進室、（公財）大津市国際親善協会、  
膳所学区自主防災会、滋賀県国際課

内容：多言語通訳アプリを使った外国人避難者受付・相談訓練  
多言語表示シート作成体験、多言語非常持出袋の展示等

イ. 堅田学区防災訓練/堅田中学校3年生総合学習「避難所体験」への協力

開催日：11月25日（土）

会場：大津市立堅田中学校

内容：大津市観光振興課 MICE 推進室と「避難時の外国の方への接し方」をテーマに講義および多言語通訳アプリを使った外国人対応のデモンストレーションを実施

##### ② 災害時外国人サポーター登録および研修

「災害時外国人サポーター養成講座」

（主催：滋賀県、共催：滋賀県国際協会）

テーマ：「考えてみませんか？もし外国人が災害にあったら？」

講 師：大槻 一彦さん（国際教育研究会 Glocal net Shiga）  
開催日：3月3日（日）  
会 場：キラリエ草津（草津市）  
参加者：23人

③ 多言語非常持出袋、防災多言語資料の普及啓発

県内警察署による外国人県民等向け安全教室、県内交流イベントや防災啓発事業への多言語防災資料提供

・提供件数および配布部数：30件 792部

④ 消防職員対象 緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等  
〔初任教育研修〕

開催日：7月13日（木） 受講者：57人

⑤ 近畿地域国際化協会連絡協議会 災害時外国人支援研究会への参加

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として同研究会の研修会や訓練に参加し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面での広域的な支援体制づくりを行った。あわせて、2023年度は近畿ブロック副幹事協会として、相談事業担当者の意見交換のための分科会を開催・運営した。

【総 会】8月4日（金）

【分科会】1月19日（金） 参加者 19人

【研究会】4回（6/29、9/8、12/8、2/22）

【共催研修等への参加】 ※協会職員および災害時外国人サポーターが参加

- |         |                                     |        |
|---------|-------------------------------------|--------|
| ・ 6/24  | kokoka（京都市）防災訓練                     | 参加者 2人 |
| ・ 11/30 | 災害時緊急連絡訓練                           | 参加者 3人 |
| ・ 11/30 | 和歌山県災害時多言語支援センター設置運営&避難所巡回訓練（オンライン） | 参加者 2人 |
| ・ 12/15 | 堺市総合防災センター見学                        | 参加者 1人 |
| ・ 2/8   | ワークショップ～協力型防災ゲーム「LIFE」              | 参加者 2人 |
| ・ 3/8   | 広域災害を見据えた会長協会の機能・役割について             | 参加者 1人 |

⑥ 委員、アドバイス等

- 滋賀県防災会議委員
- 滋賀県国民保護協議会委員
- 滋賀県災害時ボランティアネットワーク会議／要配慮者支援ネットワーク（事務局：滋賀県社会福祉協議会）

(6) その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座（共催：びわこ日本語ネットワーク）

テーマ：最初の一步！初級の学習者との支援方法を学ぼう！

講 師：遠藤 知佐さん（大阪大学・立命館大学 非常勤講師、文化庁地域日本語教育アドバイザー）

開催日：12月3日（日）、12月17日（日）（全4回）

会 場：第1・2回 コミュニティセンターきたの（野洲市）  
第3・4回 アクティ近江八幡  
参加者：延べ79人

イ. びわこ日本語ネットワーク「第20回外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

開催日：2月25日（日）  
会 場：石部文化ホール（湖南市）  
参加者：会場入場者 約120人  
発表者：12人

■滋賀県国際協会会長賞：「ふるさとの農業を思う」  
アルディ クルニ アワン さん（インドネシア）

ウ. その他

○ 「外国につながる子ども・若者の市民性を育む国際理解教育—小学生新聞の日本語学習教材としての可能性を探る—」企画・開催協力

呼びかけ人：藤原孝章さん（同志社女子大学名誉教授、日本国際理解教育学会元会長）他 6人（当協会職員含む）

協 力：朝日小学生新聞・朝日中高生新聞

開催日：8月11日（金・祝）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：22人

内 容：問題提起、趣旨説明、事例紹介、ワークショップ

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室および外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

日本語指導教材蔵書数：340冊

貸出数： 8件 17点

ブラジル教科書蔵書数：51冊

④ 多言語情報の提供等

多文化共生学校づくり支援サイト、多言語防災情報〔再掲〕、外国語が通じる病院の情報提供、多言語子育て情報サイト、生活Q&A等で随時情報を提供した。

(7) 留学生への奨学金の支給 [自主]

○ 留学生 支給額：月額20,000円

支給人員：10人（うち1人10月以降支給決定取消）

（申請18人）

【びわこ奨学金授与式】

開催日：6月28日（水）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：奨学生9人および引率者（大学担当者）4人

## 2 多文化共生によるまちづくり

### (1) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

#### ① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：109件

#### ② 委員、アドバイス等

- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
  - 公益社団法人滋賀県人権教育研究会理事
  - 令和5年度滋賀県困難女性支援基本計画策定検討委員会委員
  - 湖南省における夜間学級の有識者等会議委員
  - 滋賀県外国人材活躍支援会議メンバー
  - 多文化共生フォーラム 2023 in 近畿実行委員
- ・ 滋賀県地域日本語教育推進事業への協力（広報、会議等）
  - ・ デジタルツールと日本語学習に関するアンケート調査（三重大学教育学部准教授 服部明子氏）への協力
  - ・ 在住外国人の災害準備に関するアンケート調査（神戸大学大学院保健学研究科 研究責任者 准教授 小寺さやか氏）への協力
  - ・ ウクライナ避難民支援に関する調査（JICA 中東・欧州部ウクライナ支援室インターン生）への協力
  - ・ タイ移動領事館開催協力

#### ③ 講師等（国際協会職員）派遣等

・ 4/7	日本経済新聞記者取材受入 （参考：5/13 日本経済新聞「高度外国人材 滋賀で急増」コメント掲載）	来所者	1人
・ 7/21	県会議員訪問受入（相談センター、外国人の現状等）	来所者	1人
・ 7/24	立命館守山高校生インタビュー対応	面談者	1人
・ 8/3	全国市町村国際文化研修所 令和5年度「外国人相談窓口の運営」2日目「事例紹介」	受講者	54人
・ 8/7	公益社団法人滋賀県人権教育研究会 夏季セミナーⅢ 「外国にルーツのある児童生徒を見守るために大人がしておくべきこと」	参加者	85人
・ 8/25	滋賀県労働雇用政策課インターン生訪問受入	来所者	5人
・ 8/28 他	株式会社ワイズ関西訪問受入	来所者	2人
・ 9/28	一般財団法人日伯協会訪問受入	来所者	3人
10/6	立命館大学情報理工学部村上ゼミ訪問受入	来所者	11人
・ 10/31	龍谷大学国際学部グローバルスタディーズ学科学生 医療通訳 ヒアリング対応	面談者	1人
・ 11/17	大津市議会議員訪問受入（相談内容、外国ルーツの子どもの教育）	来所者	1人
・ 11/25	堅田中学校防災授業	参加者	120人
・ 11/24	立命館守山高校生ヒアリング対応	面談者	1人
・ 1/23	東近江市立玉緒小学校 アミーゴ教室保護者会 「進路・就労、子どもの将来に向けて」	参加者	7人

・ 1/24	大津市立日吉中学校 3 年生人権講座「生き方講話」	参加者	35 人
・ 2/1	滋賀県立大津商業高校第 1 学年ビジネス基礎「地域を知るフィールドワーク」訪問受入	来所者	2 班 8 人
・ 2/2	湖南地区職業対策連絡協議会 進路支援部第 3 回部会 「外国にルーツのある生徒への進路保障～わたし達ができること～」	参加者	18 人
・ 2/6	滋賀県人権施策推進課発行「じんけん通信 3 月号（第 191 号）」取材対応	来所者	1 人
・ 2/10	公益財団法人大津市国際親善協会「多文化共生講座」	参加者	7 人

## 《 情報収集・提供による環境づくり 》

### 1 情報収集・提供事業

#### (1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年 3 回 124 号（7 月）、125 号（11 月）、126 号（3 月）  
発行部数：2,500 部／回

#### (2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月 1 回  
送信件数：431 件／回

#### (3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

- ① 協会ホームページ 閲覧数：154,883（前年度 287,358）  
月平均：12,906（前年度 23,946）
- ② SIA Facebook リーチ数：73,169（前年度 87,078）  
記事投稿件数：328（前年度 510）

#### (4) 国際情報サロンによる情報提供 [補助] [自主]

- ① サロン展示事業および啓発展示
- ・ ウクライナ避難民応援支援金活動の紹介
  - ・ 姉妹友好州省交流事業の紹介
- ② 交流スペースの貸出 43 回
- ③ 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）
- ア. サロン図書の貸出 3 件、6 点
  - イ. 国旗の貸出（普通旗・卓上旗）
    - ・ 貸出：4 件、延べ 10 点（4 か国・地域）

#### (5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 [再掲]

- ・ 法務省大阪出入国在留管理局（在留資格相談会、合同専門家相談会）
- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路ガイダンス等）
- ・ 県医療福祉推進課（外国人介護職員養成事業の実施協力等）

- ・ 県労働雇用政策課、テクノカレッジ米原（定住外国人向け職業訓練コース）
- ・ 日本国際協力センター（JICE）関西（外国人就労準備研修）
- ・ 外国人材受入れサポートセンター（外国人の雇用等）
- ・ 滋賀弁護士会（法律相談）
- ・ JICA 関西（開発教育・国際教育研修の実施）

## （6）海外渡航の支援 [自主]

- ① 渡航相談業務 1 件
- ② 写真撮影（パスポート申請用自動証明写真機の設置）  
撮影件数：6,983 件（8 月 21 日～3 月 31 日）

## 《 ボランティア、市民活動団体の活動促進 》

### 1 ボランティアの活動促進 [自主]

#### （1）S I A ボランティアの登録・紹介（3 月 31 日現在）

国際交流支援	登録： 83 人
ホームステイ・ホームビジット	登録： 64 人
通訳・翻訳	登録： 133 人、紹介： 4 件、5 人
登録者数合計	延べ 280 人（179 人）

- ボランティア オリエンテーション：随時
- 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）運営委員  
11/14 KIV-NET（関西国際交流ボランティアネットワーク）総会  
オンライン出席  
2/14 万博ボランティア募集案内（KIV-NET 枠）

#### （2）災害時外国人サポーター登録制度（3 月 31 日現在）

- 登録者数：137 人（15 言語に対応）
- 講座および研修への参加案内等
  - ・ 6/25 kokoka（京都市国際交流協会）防災訓練  
インドネシア語、英語のサポーター 2 人が参加 [再掲]

#### （3）ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：21 件  
ボランティア相談対応：11 件

### 2 市民活動団体等活動促進事業 [自主]

#### （1）滋賀県国際交流推進協議会の運営支援

参加団体：60 団体（地域協会部会 16 団体、団体部会 44 団体）

- ① 全体会議・部会会議  
開催日：7 月 14 日（金）  
会 場：ピアザ淡海  
参加者：26 人

## ② 全体研修会

テーマ：「事例から学ぶ 滋賀で働く外国人の今」

講師：鵜飼 知枝さん（滋賀県外国人材受入サポートセンター）  
株式会社松喜屋、株式会社キムラテック

開催日：11月15日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：33人

## ③ 部会合同研修会

テーマ：ウトロ平和祈念館視察（講話・館内見学・フィールドワーク）

講師：金 秀煥さん（ウトロ平和祈念館副館長）

開催日：2月27日（火）

会場：ウトロ平和祈念館（京都府宇治市）

参加者：11人

## ④ 運営委員会

開催回数：2回

開催日：5月12日（金）、3月13日（水）

## (2) 市民活動団体等への支援

後援事業数 12件

その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

## (3) JICA国際協力推進員との連携 [再掲]

JICA 国際協力推進員と連携し、国際教育事業の他、国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に情報発信や相談に対応した。

## 《 協会の基盤整備 》

### 1 会員および支援者の確保

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座やワークショップ開催時など各種機会において入会の案内を行った。

あわせて、来所者や国際情報サロン利用者に対して協会実施の事業や趣旨、意義について説明をすることで、会員確保に向けての啓発を行った。

\* 税額控除証明書を2022年11月29日に再取得。

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認定）

○ 寄附金：2件、110,000円

○ 会員数 個人会員：233人（前年度末：231人）

団体会員：88団体（前年度末：87団体）

計：321会員（前年度末：318会員）

### 2 協会のBCP(事業継続計画)の検証

2021年度に策定したBCP(事業継続計画)を確認するため、所内の発災後初動訓練を行った。

開催日：2月28日（水）